

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	narelu九条		
○保護者評価実施期間		2025年 2月5日	~ 2025年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間		2025年 2月5日	~ 2025年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月14日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに合った、楽しめる活動の提案。	やらされる活動ではなく、やりたくなる活動を考える。楽しく遊んでいたらいつの間にかできた、成長した。と感じてもらえるよう遊び方の工夫。	過去の遊びも参考にしながら、通所している児童へのアクセスを都度行い遊びもアップデートしていく。良かった点、改善が必要な点は、事業所全体で話し合い試行錯誤していく。
2	天気の良い日は外出し、散歩や公園で体を動かして遊び、体力づくりをしている。	ボール遊びや、鬼ごっこなどの普段の室内遊びでは難しいことを、外遊びで実現させる。	安心・安全に過ごせる様、外出先の経路や危険個所の見直し、万が一の時（災害時等）のフォロー図等の共有を徹底する。
3	HPやSNS、個別LINEでの活動内容の発信。	日々の様子が伝わるよう、画像や動画の共有。	継続。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が弱い。	事業所内で完結することが多く、通所がある児童が通う以外の学校や、地域とのやり取りが少ない。	日頃からの関わりを大切にし関係を深めていく、地域主催のイベント等にも積極的に参加していく。
2	言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の専門的な従業員がいない。	外部の研修や講義を受講する機会が少ない。	発達支援センターの訪問支援などを利用を検討し、専門的な助言をもらえるような体制を構築する。 療育現場を見学させてもらい、スタッフのスキルアップを目指す。
3	事業所と保護者が直接交わる機会が少ない。	個別支援計画更新の際はモニタリングを行っているが、その他で事業所と保護者が交わる企画等を検討していなかった。	家族参加型のイベント等の企画を検討する。 定期的イベントのような形で保護者同士の座談会や、交流会の企画を検討する。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	narelu九条	公表日	2025年 3月14日
------	----------	-----	-------------

利用児童数 2

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				2		
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	narelu九条	公表日	2025年3月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		学習スペースとフリースペースは分けている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		教室内に段差はなく、見通しの良い空間になっている。 マットを敷き転倒防止措置を講じている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		おもちゃ等は決めたところに保管し、退所後はアルコール消毒を徹底している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		毎回学習前・後に前回内容の振り返り・ミーティングを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	現在はご利用者様と社内の評価のみとなっているが、今後の検討課題としていく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		虐待研修をはじめ、時事に応じた研修を行っている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		各職員からの聞き取りや担当者会議を行い、作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		スタッフは自由に意見を言い、共通の目標を持って取り組むことを目指している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		各職員からの聞き取りや担当者会議を行い作成し、実行している。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		放課後等デイサービスガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立案している。今後も子どもたちが個々のペースで楽しんで学習できることを大切にしていく。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			

供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		活動開始前ミーティングを行い、利用児の様子や、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合う。活動終了後も振り返りを行い、記録している。それらを次回のステップアップや改善につなげている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		概ね6か月に1度、見直し、支援に関わる全職員で取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		開催される場合には、児童発達支援管理責任者が立ち会っている。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		送迎時や保護者を通して、情報共有をさせていただいている。トラブル時の連絡フローマニュアルも作成している。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			療育支援センター等主催の研修会に参加を検討している。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		10		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎の際にFBをさせていただいたり、モニタリングを通してニーズの確認をしている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		保護者から相談があった際は、随時相談支援を行っている。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明をしている。また、随時不明な点は職員が説明するようにしている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		希望に応じて相談を受け付けている。また、モニタリング時に相談の時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めている。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	10		SNSで日々の療育内容などを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10			地域住民が参加できる行事や研修開催は、企画できなかつたため来年度に向け検討課題とする。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行ったり、契約時に説明しているが、周知・訓練について十分でない部分もあるため改善に努める。マニュアルについても必要に応じて見直していく。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			動画での視聴・イベントでの自助意識の向上には力を入れているが、避難訓練は火事・地震・洪水など細分化して行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	10		保護者記入の健康状況票により把握している。また、必要に応じて聞き取りを行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しミーティングを通して職員で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		内部研修を主とし毎月行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		緊急を要する場合に一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこととしている。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明をしている。	